

## 輸送動向について(平成22年5月)

平成22年6月

### 1. 輸送概況

今月は、下旬に山陽線において発生した貨物列車とトラックの衝撃事故及び兵庫県南部地方の大雨の影響により、高速貨41本が運休した。

荷動きについては、不順な天候の影響を受け季節商品の需要が低調に推移したものの、景気回復に伴う製造業の生産拡大を受けて、月全体を通して堅調に推移した。

コンテナ貨物は、食料工業品、積合せ貨物などが前年を下回ったものの、自動車部品、化学薬品、化学工業品などが前年を上回り、全体では前年比104.7%となった。食料工業品は気温が低く推移したことにより、清涼飲料水の消費が低迷し減送となった。また、積合せ貨物は、一部顧客の荷量減少及び輸送障害の影響により減送となった。一方、自動車部品、化学薬品などは、昨年の生産調整の反動及び輸出産業の生産回復に伴い増送となった。さらに家電・情報機器は、各メーカーのモダリティシフトの動きが定着し増送となった。

車扱貨物は、セメント・石灰石が前年をわずかに下回り、全体では前年比99.1%となった。セメント・石灰石は一部荷主の輸送中止により減送となった。

### 2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,531	1,463	104.7%	3,333	3,153	105.7%
車 扱	662	668	99.1%	1,604	1,524	105.2%

### 3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	109	112	-3	97.3%
	化学工業品	153	141	12	108.5%
	化学薬品	116	103	13	112.6%
	食料工業品	234	243	-9	96.3%
	紙・パルプ	248	240	8	103.3%
	他工業品	121	110	11	110.0%
	積合せ貨物	167	174	-7	96.0%
	自動車部品	61	43	18	141.9%
	家電・情報機器	35	28	7	125.0%
	エコ関連物資	27	26	1	103.8%
	その他の	260	243	17	107.0%
	コンテナ計	1,531	1,463	68	104.7%
車 扱	石油	462	462	0	100.0%
	セメント・石灰石	52	55	-3	94.4%
	車 両	68	67	1	101.5%
	その他の	79	83	-4	94.9%
	車 扱 計	662	668	-6	99.1%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)